

描きたい、が
止まらない

JE NE PEUX PAS M'EMPECHER DE PEINDRE



撮影・監督：近藤 剛

プロデューサー：松本 裕子 山根 幸太郎 撮影：池田 俊己

録音：池田 泰明 編集：川畑 耕平 選曲：浦上 悦子 語り：山上 智

オンラインエディター：池田 聡 ミキサー：富永 憲一 技術協力：翔の会 NEO P&T

製作・配給：PAO
NET
WORK

2018年 / カラー / 90分 製作・配給 パオネットワーク www.paonetwork.co.jp



世界自閉症啓発デー2025 in SAGA 映画特別上映会 2025.4.5(土) 開場13:00 開始13:30 アバンセ(佐賀市) 入場無料

■お問合せ

✉ saga_autism00@yahoo.co.jp
TEL 080-6423-2066

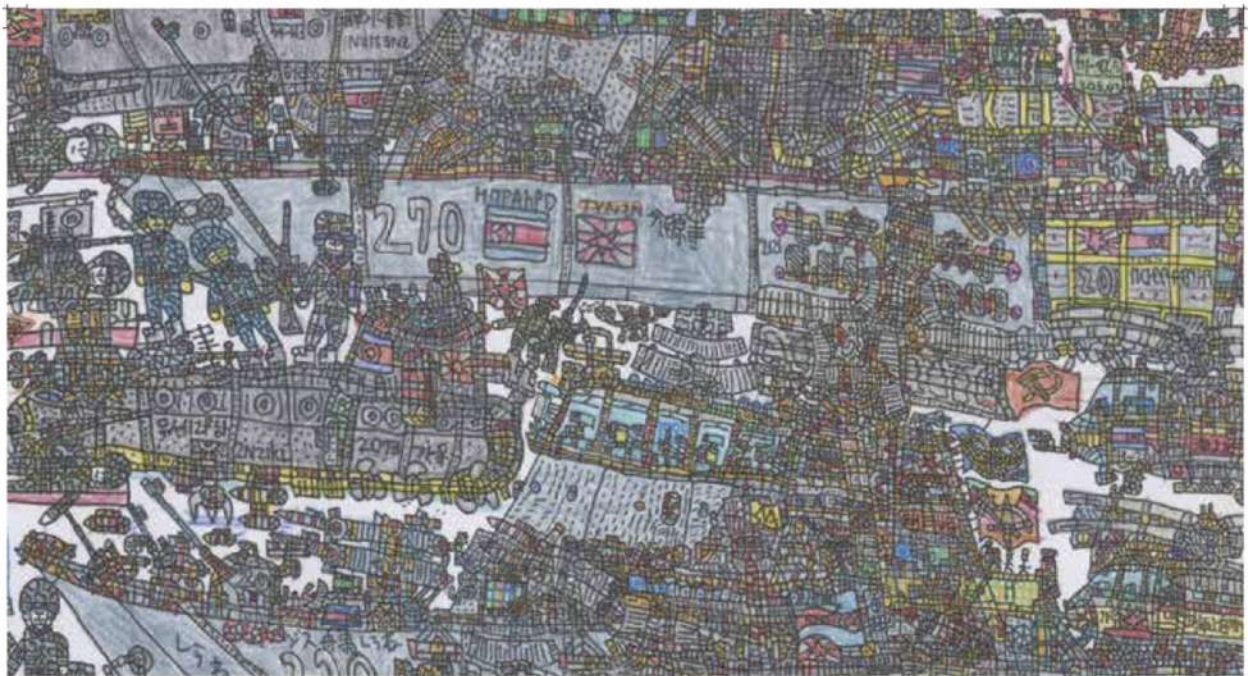
〒849-0931 佐賀市鍋島町大字蛸久226-1

主催：佐賀県自閉症協会

共催：佐賀県東部発達障害者支援センター結・佐賀県西部発達障害者支援センター蒼空～SORA～
佐賀県発達障害者就労支援センターSKY～スカイ～・TEACCHプログラム研究会佐賀支部

ご来場の際は、佐賀県
自閉症協会：ひまわり
会の Twitter(X)、プロ
グにて最新情報をご確
認ください





※原画実寸

絵の中の“理想の街”で生きてきた古久保憲満（のりみつ）が、自立を目指し現実社会に踏み出そうとする姿を見つめる。

アール・ブリュットとは「生の芸術」。

その分野で世界的な評価を受ける憲満は自閉症。3歳の頃から絵を描くときだけは気持ちが落ち着いた。世界の街をモチーフに、絵の中にオリジナルの街を創りあげていく。23歳になった憲満が今、いちばん気になっているのは“自立”。親がいなくなったあと、独りで生きていけるのかと不安を抱く。北朝鮮や刑務所、軍隊に興味をもつ一風変わった青年が、自分の現実に向き合い、ちょっとおかしな日々。映画を見たら、あなたもきっと憲満を好きになるはず…。



【アール・ブリュット (Art Brut) とは】

正規の美術教育を受けていない人々が独自の発想と方法により制作した作品のこと。「アール (Art)」は「芸術」、「ブリュット (Brut)」は「(加工されていない) 生のままの」を表すフランス語で、画家のジャン・デュビュフが1945年に提唱した。障がいの有無に関わらず、多様な作家が存在する。

映画「描きたい、が止まらない」への思い 監督：近藤 剛

この映画は、障がい者アートがテーマではない。ひとりの青年が感情の揺れや困難に立ち向かいながら、勇気を出して新たな一歩をふみ出す、その過程を丹念に描きたかった。映画を観終わったあと、観た人が古久保憲満さんに興味を抱き、健常と障がいの間に横たわる垣根が少しでも取り払われればと願っている。

森 達也 (映画監督・作家)

あなたはまず絵に圧倒される。そして悩む。
精神と表現はどのように影響し合うのか。
でもすぐに夢中になる。それほどに被写体が魅力的だ。

有森裕子 (元マラソン選手)

彼の止まらない言葉と、
思いをぶつけるが如く動き描き続ける絵に、
ただただ引き込まれていた。

ドキュメンタリー映画 描きたい、が止まらない

毎年4月2日は国連が定めた「世界自閉症啓発デー」

自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害について知っていただくこと、理解をしていただくことは、発達障害のある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現につながるのではないのでしょうか。

今年はある自閉症の青年のドキュメンタリー映画を上映します。皆さまのお越しをお待ちしています。

日時 **2025.4.5(土)** 開場 13:00 開始 13:30 入場無料

会場 **アバンセホール** 佐賀市天神三丁目2-11

3月28日(金)迄に右記QRコードからお申込み下さい。
当日参加も可能です。ただし会場定員を超えた場合は
事前に締め切りますのでお早めにお申込みください。

